

神戸女学院大学

人間科学部 心理・行動科学科

精神保健福祉士養成課程 ニュースレター

第5号



第130回 大精診市民講演会・第19回 みなとこころの講座に
参加させていただきました。

3回生の授業(精神保健福祉援助実習Ⅰ)において、
講座に参加させていただきました。

テーマは【聞いてみよう 高次脳機能障害のこと】
堺市にて高次脳機能外来を診療されている、
なやクリニックの納谷先生よりお話を伺いました。

参加した3回生の感想

★脳の障害は大きく分けて4種類あり、その中でも
脳損傷はさらに体・心理・精神への障害が出るとい
う話が印象に残り、脳機能の重要さがわかった。

★本人が失語症などでコミュニケーションをとること
が困難であっても、本人に話しかけて話す機会
を設けることが大切である言葉がとても印象に
残った。

★参加者の方が相談された内容に対し、どうにも
できない苦しさや印象に残った。自分なりに解決策
を調べて考えてみたが、ノートなどを活用して文字
でのやり取りをすることくらいしか思いつかなか
った。失語症の方とどのように意思疎通をするのか、
支援の仕方も知りたいと思い、今後調べてみよう
と思った。

★体の機能の障害に加えて、うつ病ややる気が出
ないなど、精神の症状が出ることを初めて知り、心
の支えも重要であると感じた。

★以前当たり前でできていたことができなくなるこ
とは、ショックを受けるとともに、受け入れることが
非常に難しいように感じられた。そのため、周りの
人が寄り添うことはとても大切だと思った。そして、
当事者の方同士での関わりがよりリハビリに効果
をもたらしたり、悩みを共有できるメリットがあると
知り、繋がりを作ることは改めて重要なことだ
と思った。



講演後は、主催機関の1つである特定非営利活動
法人 障害者の福祉を進める会みなと グリーング
(就労継続支援B型事業所)において、精神保健福祉
士として従事されている難波様に学生からの質疑応
答をお答えいただきました。
その一部をご紹介します。

Q1:障がいのある方の就労支援において、難波さん
が思う一番の課題は何ですか？

A1:「働かざるもの食うべからず」という言葉が使われ
たりするが、働きたくても働けない時があるので、
その時に必要以上に後ろめたさを感じないで済む
ような社会通念があって欲しい。

Q2:他機関との連携について、具体的にどのような
機関とやり取りしていますか？

A2:訪問看護、ヘルパー、区役所、社協、主治医、
お客様、お仕事を依頼してくださる方。時には
商店街関係のグループとやり取りすることもある。

Q3:お仕事をされる中で、どのような時にやりがいを
感じますか？

A3:就職のお手伝いや、結婚式に呼ばれることも嬉し
くやりがいをを感じるが、日々の「おはよう」と声を掛
けられるだけでもやりがいをを感じる。

参加をお受けいただきました主催者のみなさま、納谷先生、難波様に
心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

